

第7回和歌山県データ利活用コンペティション募集要項

1 開催趣旨

和歌山県は、総務省統計局や独立行政法人統計センターと共に、「日本のデータ利活用拠点」として、データ利活用に関する分析・研究や情報発信、人材育成、連携・支援に取り組んでいます。その取組の一つとして、データ利活用の重要性・有用性を発信するとともに、次世代の日本を担うデータサイエンス人材を育成すべく、全国の高校生、大学生等を対象に、行政課題に対するデータを利活用した解決アイデアを募集する「第7回和歌山県データ利活用コンペティション」を開催します。

若い世代の皆さんにとって、今回のコンペティションへの参加が、地域の現状をよりよく理解し、データを利活用して物事を客観的かつ正確に捉えることの重要性を再認識するきっかけになれば幸いです。

2 募集内容

(1) 募集テーマ（高校生の部・大学生の部共通）

「ウィズコロナ時代における地域の交流人口を拡大するための施策」

募集テーマを踏まえ、あなたがゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）の現状・課題をデータに基づき分析し、オリジナルの施策を提案してください。

【具体例】

- ✎ 2025年大阪・関西万博に向けた誘客施策
- ✎ 観光産業と地域の連携施策
- ✎ 地域における観光消費を高めるための施策
- ✎ デジタル技術を活用した観光プラン
- ✎ 地域の垣根を超えた広域のコンテンツづくり
- ✎ 地域ならではの隠れた魅力を発信
- ✎ 何度も訪れたい地域づくり

など自由な視点で提案してください。

【活用データ例】

- ・ 公的統計
- ・ 地域経済分析システム(RESAS)
- ・ 各地方公共団体が公表するオープンデータ
- ・ 民間が公表しているオープンデータ
- ・ 応募者自身が独自に行ったアンケート調査データ 等

(2) 応募要件

- ✓ 募集テーマに基づく提案であること
- ✓ データ分析から得られるエビデンス（客観的証拠）に基づく施策提案であるとともに、応

- ✖ 国や都道府県・市町村、その他民間機関等が主催するコンテスト等において受賞歴のある作品を内容の変更なく応募することは不可であること
- ✓ 現状及び課題について、データに基づく分析を行っていること
 - ※ 分析に使用するデータや分析ツールについて制限はありませんが、参考にした既存の統計や分析結果等がある場合は、資料出所を必ず記載すること(URLのみの記載は不可)
- ✓ 令和5年12月16日(土)に開催する最終審査会に参加可能であること
(最終審査会の詳細については「審査の流れ」を参照してください)

(3) 募集期間

令和5年4月1日(土)～10月19日(木)

3 募集区分

高校生部門	高等学校、高等専門学校1年から3年まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の在学学生
大学生部門	大学、大学院、短期大学、高等専門学校4・5年、専修学校専門課程・一般課程の在学学生

※1 高校生部門に参加される場合は必ず指導教員を1名付けてください。

※2 複数人でのグループ参加も可能です。各チームの人数に制限はありませんが、最終審査会の旅費支給対象人数は、下記「[5 審査の流れ](#)」>「(3) 最終審査回・表彰式について」※3のとおりです。また、グループについては、学校等の垣根を越えた編成も可能とします。

4 応募方法

本募集要項をよくお読みいただき、募集期間内に全ての応募書類をメールで提出してください。

(1) 応募書類 ※※ファイル形式厳守※※

アからウの全ての書類を提出してください。

ア 参加申込書(ファイル形式 Microsoft Excel)

イ 応募用紙(ファイル形式 Microsoft Word)

ウ プレゼン資料(ファイル形式 Microsoft PowerPoint 又は PDF)

※ 「ア 参加申込書」及び「イ 応募用紙」の様式は、応募サイトからダウンロードしてください。
(URL: https://datarikatsuyou.pref.wakayama.jp/jinzai/competition/2023_7/)

※ 「ウ プレゼン資料」の様式は任意ですが、ファイル形式は厳守してください。

※ 「ウ プレゼン資料」の枚数は、最終審査会でプレゼンテーションすることを想定した枚数にまとめてください。プレゼンテーションの時間は、高校生部門 10 分、大学生部門 14 分を予定しています。

※ 応募書類が不足していたり、ファイル形式が異なる場合は受付ができません。

(2) 送付先： e0201003@pref.wakayama.lg.jp

※ 応募方法はメールのみとさせていただきます。

- ※ 応募受付後、1週間以内に受信確認メールを送付させていただきます。
(受信確認メールがない場合は、事務局までお問合せください。)
- ※ メール の 件名 は、次 の と お り 記 入 し て く だ さ い。
「【学校名・チーム名】第7回和歌山県データ利活用コンペティション応募」
(例：【●●高等学校▲▲】第7回和歌山県データ利活用コンペティション応募)
- ※ 学校から複数応募する場合は、できる限り、各チームの資料を学校単位でまとめて応募いただけますようご協力をお願いします。
- ※ 添付資料が 6MB を 超 え る 場 合 は、事 務 局 宛 て に E メ ー ル で 御 連 絡 く だ さ い。 県 指 定 の フ ェ イ ル ア ッ プ ロ ー ド 用 URL を 御 案 内 し ま す。(本 URL は、一つの URL につき1回のみ、最大5ファイルまでアップロード可能で、利用期限はURL発行から1週間以内となります。)
なお、ファイル共有サービスは御利用いただけませんので、必ず県指定のファイルアップロード用URLを利用してください。
その他、不明な点がある場合には、事務局までお問い合わせください。

5 審査の流れ

(1) 審査の観点

提案作品は、次の観点から審査します。

なお、応募書類の不備や誤りなど、資料の完成度も審査します。

ア：データ利活用の観点

- ・データを適切に利活用し、独自の着眼点からデータを分析し、地域の現状や課題を抽出できているか

イ：施策提案の観点

- ・募集テーマに基づいた独自性・将来性のある施策提案であり、データ分析から得られたエビデンス（客観的証拠）に基づいているか

(2) 審査方法及び審査員

事前審査	事務局による形式的な書類審査を行います。
一次審査	学識経験者等による書類審査を行い、最終審査に進出する参加者を決定します。一次審査結果は合否にかかわらず11月末までに代表者宛てにEメールで通知します。
最終審査	一次審査通過者には最終審査会に出席してプレゼンテーションを行っていただき、学識経験者及び関係行政機関の職員による厳正な審査に基づき、入賞作品を決定します。

(3) 最終審査会・表彰式について

日時：令和5年12月16日（土）10:00～（予定）

会場：和歌山県データ利活用推進センター

（和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17 南海和歌山市駅ビル5階）

※1 午前は高校生部門、午後は大学生部門を審査し、審査終了後表彰式を実施します。

※2 一次審査通過者は必ず最終審査会に出席してください。

※3 最終審査会に出席するために必要な旅費は、県の規定に基づき算出した額を1チームにつき3名分（高校生の場合は指導教員1名分を追加した額（合計4名分））まで支給します。

6 入賞区分及び賞

入賞区分	入賞点数
大賞（副賞：商品券 20 万円）	各部門につき 1 点
データ利活用賞（副賞：商品券 5 万円）	各部門につき 1 点
政策アイデア賞（副賞：商品券 5 万円）	各部門につき 1 点

※ 大賞の受賞者には、賞状、楯及び副賞、その他の受賞者には、賞状及び副賞を贈呈致します。

7 その他

(1) 著作権

応募物の著作権は応募者本人に帰属しますが、県が広報・宣伝の目的、または公共の利益のために利用・複製することは無償で認められるものとします。

(2) 個人情報の取扱いについて

- ・ 応募の際にいただいた個人情報は、本コンペティション運営のためにのみ利用します。
- ・ 取得した個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、県ホームページにおいて、受賞者及び指導教員の氏名を公開することがあります。

(3) 本コンペティションに関するお問合わせ窓口（事務局）

和歌山県企画部企画政策局企画総務課（和歌山県データ利活用推進センター）
 住所 〒640-8203 和歌山県和歌山市東蔵前丁 3 番 17 南海和歌山市駅ビル 5 階
 TEL 073-488-2430
 FAX 073-488-2432
 Mail e0201003@pref.wakayama.lg.jp

(4) 主催

和歌山県